



# コマツナギ [ 駒繋ぎ ]

5本の樹

落葉 / 低木 / 木本植物 / 在来種



**科名** マメ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：やや速い

本州以南の草地や土手などの、やや乾いた日当りのよいところに群生するマメ科の植物。和名の「駒繋ぎ」は、茎が丈夫で、馬をつなぎとめることができることに由来。ヤマハギなどの葉は3枚の小葉から構成されるのに対し7枚から13枚つける。シロバナコマツナギもある。



## Memo

法面緑化に中国からトウコマツナギが導入されている。緑化にはなるが、在来種保護にはならない。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	花期												
	果実												
	黄葉												
	施肥 (不要)												
	剪定						★★						

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境			
日当たり	陽	○ ○	陰
土壌	乾	○ ○	湿
寒さ	強	○	弱
暑さ	強	○	弱
潮風	強	○	弱

観賞ポイント	姿						
	花						
	葉						
	紅葉						
	実香						

## ポイント

ハギの中では高さ80cm内外の小型種。花の終わった時期に地上部を強剪定して、春に新たに萌芽させると管理しやすい。ミヤマシジミの唯一の食草。シジミチョウが舞う景も一緒に楽しみたい。

## 剪定

秋に根際でバツサリ剪定する。遅くとも2月中には剪定を済ませておきたい。翌年萌芽する芽に花がつくので冬場に刈り込むとよい。

## 病虫害

葉に錆（さび）色の斑点が生じるさび病（カビの一種）が発生することがある。風通しが良くなるよう枝を透くとよい。ミヤマシジミの幼虫はコマツナギだけを食草にする。

呼べる鳥 キジ・ヤマドリ

呼べる蝶 [ツバメシジミ](#)・[モンキチョウ](#)・[コムスジ](#)  
クロシジミ・キチョウ・[キタキチョウ](#)  
ミヤマシジミ・シルビアシジミ  
リュウキュウミスジ